

「思いがけず脚本を・・・」

高校 25 期 横山〈佐藤〉玲子

高校を卒業して東京の女子大に入学、卒業後すぐに結婚いたしました。子供の手が離れてから、楽しみに脚本教室に通っておりましたが、演劇、ラジオドラマ等のコンクールで賞をいただいて、数年前から少し仕事をするようになりました。家庭の中だけにいた私にとって、ほんとうに思いがけないことでしたが、それを通じて多くの方と知り合い、社会経験できたことは幸せなことでした。なにより、仕事をする喜びを知りました。

昨年（2004）はNHKのFMで、スタンダードの「赤と黒」を脚色、30回の連続ラジオドラマとして放送されました。フランスの歴史や風俗など、夢中で調べました。学生時代、ちっとも勉強せずに本ばかり読んでいましたが、それが今、創作の基礎となっているように思います。



あの夢見がちだった少女時代、物語のヒロインに自分を重ね合わせ、素敵なヒーローに憧れ、未来にいっぱいの希望を馳せ・・・八尾高の青いリボンのセーラー服とともに、その頃の自分をいとおしく思い出します。